

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 20 号

ドーピング意識に関する日本とイタリアの体育学専攻大学生の比較

(A Comparison of Doping Awareness among Japanese and Italian University Physical Education Students)

依田 充代 (よだ みつよ)

博士 (スポーツ健康科学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、日本のドーピング実施率が低い理由を解明するという背景の下で、ドーピング意識に関する仮説モデルを作成し、測定尺度を開発することで、外国との比較から日本の体育大学生のドーピング意識の特徴を初めて明らかにしたスポーツ健康科学研究において意義ある論文である。

今後の日本の体育大学生のドーピング教育にも重要な視点を与える意義深い研究であり、ドーピングに関する国内外の取り組みや先行研究を丁寧に整理して論理性を持たせた上で、イタリアでの調査を実施し国外と比較した点に特色があり、その過程で新たにドーピング意識尺度を作成したことに独創性が見られる。なお、ドーピング意識尺度の開発にあたっては、仮説モデルの作成から検証まで因子分析と構造方程式モデリングの理論に則って行われている。

アンチドーピング教育の方法が模索されている中、本研究はアンチドーピング教育を展開していく上での基礎的な知見を与え、スポーツ健康科学分野で大きな貢献がなされたといえる。

よって、本論文は博士 (スポーツ健康科学) の学位を授与するに値するものと判定した。